

## 1991年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の 受賞候補者および研究助成候補者の推薦依頼について

「女性科学者に明るい未来をの会」(1980年10月創立)では、自然科学の分野で顕著な業績を収めた女性科学者に、毎年、賞(猿橋賞)を贈呈しています。つきましては下記の要領により第11回(1991年)受賞候補者のご推薦を、お願いいたします。

### 記

#### 〔猿橋賞〕

1. 本賞は自然科学の分野で顕著な業績をおさめた女性科学者(ただし、下記の推薦締切り日で50歳未満)に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞金(30万円)をそえます。
3. 本賞の贈呈は、1年1件(1名)とします。
4. 第11回の贈呈式は、1991年5月、東京において行う予定です。

5. 所定の用紙に受賞候補者の略歴、推薦理由(400字程度)、主な業績文献リスト等を記入して、1990年11月末日(到着)までに、お送りください。

#### 〔研究助成金〕

1. 女性研究者で、海外のシンポジウム等に出席し、論文を発表する者に対して行われます。
2. 助成金は1件10万円とし、年に3件とします。
3. 所定の用紙に推薦対象者(各締切日において満40歳未満)の略歴、研究業績、国際会議名(開催場所、年月日)、発表論文題目、推薦理由等を記入して、本会事務所までお送りください。
4. 締切は1990年11月末日と、1991年4月末日の2回。

女性科学者に明るい未来をの会

〒166 東京都杉並区高円寺北 4-29-2-217

電話 03-330-2455

**編集後記:** 本号から河村 武前委員長に代って、編集委員長をお引受けすることになりました。これまで約6年間編集委員として「天気」の編集のお手伝いをしてきましたが、これからは責任が重くなり、編集委員会で気軽に発言が出来なくなるのではないかと危惧しています。

編集委員会では、“会員に役立つ学会誌”というこれまでの編集の基本方針を引き継ぐとともに、会員の多様化にともなったさまざまな要望や、ますます重要性を増す地球環境問題に対応して、充実した内容の学会誌にしてゆきたいと考えております。

河村前委員長の期間に、「素顔シリーズ」・「最近の研究から」・「情報ファイル」・「研究機関めぐり」などの新企画が始まり、幸いにも会員の皆様の好評を得ております。今後もこれらの企画を充実させてゆくとともに、「1990年代の気象学への手引」などの新企画の開始、カラーページの充実などを行う予定です。地球環境問題はその重要性が一層増していますが、この問題は学際的な面が強く、これに対応して関連分野や国際的なプロジェクトの情報などについて、より一層充実した内容をお届けしたいと考えております。

「天気」の印刷については4月号より紙質の改善を实

施致しました。また印刷方式についても既に7月号の編集後記でも触れましたように、編集委員会で長期間、多岐にわたって得失を検討しました結果、当面は活版方式を継続することになりました。しかし今後も技術革新の動向を注視し、状況の変化に素早く対応します。

学会活動は、会員一人一人が学会の存在を身近に感じようになればなるほど活発になるものと考えられます。このために会員の皆様の多くのご意見を編集作業に反映させたいと思います。ぜひ「会員の広場」への積極的なご投稿をお待ちしております。「投稿はちょっとどうも」とお考えの方はお近くの編集委員にお気軽にご意見をお寄せ下さい。また「論文」・「解説」・「シンポジウム」あるいは「情報ファイル」などにも積極的にご投稿下さい。

専任職員なしで月刊誌を発行することには多くの困難が伴いますが、最近は「天気」に対する会員の評価も上昇傾向にあり、編集委員会もこれを励みに一層の努力を行っていく所存です。会員の皆様と共に役立つ学会誌を作ってゆきたいと考えておりますので、皆様の積極的なご投稿・情報の提供・ご支援・ご協力をお願い致します。

(T. F.)